

補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年 4月 1日 策定

平成 年 月 日 修正

成果報告 令和 2年 5月31日 報告

担当課

危機管理室

補助金等の名称	佐倉市消防団連絡協議会交付金						
予算科目	一般会計	款	8	項	1	目	2
予算事業名	消防団活動支援事業						
実施計画の位置づけ	「消防・救急体制が充実したまちにします」						
補助金分類							
国県補助の状況	国付・県付・国直接・県直接 国県補助なし					千円	
交付先	佐倉市消防団連絡協議会						
支出根拠規定	佐倉市補助金等の交付に関する規則 佐倉市消防団連絡協議会交付金交付要綱						
補助の目的	佐倉市消防団連絡協議会の活動に佐倉市消防団連絡協議会交付金を交付することで消防団員の人員確保、火災の予防及び警戒活動の充実、火災発生を減少を図る。						
補助の効果	佐倉市消防団連絡協議会の活動を助成することで佐倉市の消防体制充実が図れる。						
補助対象事業の 具体的内容	1 消防団活動に係る運営経費 消防団活動に係る会議費、事務費、消耗品費、光熱水費、燃料費、雑費等 2 千葉県消防協会印旛支部消防操法大会出場に係る経費 支部大会出場に係る会議費、事務費、消耗品費、光熱水費、燃料費、雑費等 3 千葉県消防操法大会出場に係る経費 大会出場に係る会議費、事務費、消耗品費、光熱水費、機器賃借料、雑費等						
対象経費及び補助率	運営費 本部 54,000円×1本部 分団 45,000円×7分団 各部 54,000円×53部 千葉県消防協会印旛支部消防操法大会出場経費 分団出場費 18,000円×2分団 部出場経費 266,500円×2部 千葉県消防協会消防操法大会出場経費 出場部経費 240,000円×出場部数(出場がある場合のみ) 補助率……定額補助						
補助金額の根拠	佐倉市消防団連絡協議会が、消防活動を実施するために必要な経費及び佐倉市の代表として千葉県消防協会や同協会印旛支部が主催する消防操法大会に出場する場合の必要経費について算出した。						
備考	1/2を超えて補助、設立5年を超えて運営費補助する理由 消防団については、運営のための自主財源を有しておらず、本交付金がない場合、佐倉市消防団の活動に著しい支障が生じる。 交付額以上の効果も上がっており、継続して交付を行う必要がある。						
その他							
補助期間	平成27年 4月 1日～令和2年 3月31日						

補助事業計画書・成果報告書－2

		担当課	危機管理室		
補助金等の名称		佐倉市消防団連絡協議会交付金			
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	3,800	消防団員数 780人以上 (うち女性消防団員15人以上)	3,800	消防団員数 771人 (前年度比 0人) うち女性消防団員16人	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	前年度と比較して団員数の減少はなくなった。社会情勢の変化で新入団員の確保が困難になってきているが当初計画どおり総団員数780人を目指す。				
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	3,800	消防団員数 780人以上 (うち女性消防団員15人以上)	3,800	消防団員数 754人 (前年度比 -17人) うち女性消防団員15人	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	前年度と比較して団員数は17名の減少となった。社会情勢の変化で新入団員の確保が困難になってきているが当初計画どおり総団員数780人を目指す。				
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	3,800	消防団員数 780人以上 (うち女性消防団員15人以上)	4,040	消防団員数 754人 (前年度比 0人) うち女性消防団員15人 * 千葉県操法大会出場(第4分団39部)	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	前年度と比較して団員数の減少はなくなった。社会情勢の変化で新入団員の確保が困難になってきているが当初計画どおり総団員数780人を目指す。				
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	3,800	消防団員数 780人以上 (うち女性消防団員15人以上)	3,800	消防団員数 748人 (前年度比 -6人) うち女性消防団員15人	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	前年度と比較して団員数は6名の減少となった。社会情勢の変化で新入団員の確保が困難になってきているが当初計画どおり総団員数780人を目指す。				
令和元年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	3,800	消防団員数 780人以上 (うち女性消防団員15人以上)	3,800	消防団員数 740人 (前年度比 -8人) うち女性消防団員15人	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	前年度と比較して団員数は8名の減少となった。社会情勢の変化で新入団員の確保が困難になってきているが当初計画どおり総団員数780人を目指す。				
計画期間終了後の最終的な目標値		消防団員数780人以上(うち女性消防団員15人以上)			
計画期間終了後の最終的な成果値		消防団員数740人(うち女性消防団員15人)			